

## NEWS RELEASE

### 離島の医療課題に挑む、介護 DX の最前線

#### ～「眠り CONNECT」によるオンライン診療の実証研究を新上五島町で開始～

パラマウントベッド株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役 社長執行役員：木村友彦、以下「当社」）は、MUSVI 株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役 / Founder & CEO：阪井祐介）、芙蓉開発株式会社（福岡県福岡市、代表取締役社長：野中 美和）、みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：吉原 昌利）と共同で、長崎県新上五島町において、オンライン診療の実証研究を開始しました。

本実証研究は、日本医療研究開発機構（AMED）の「介護 DX を利用した抜本的現場改善事業」に採択されており、当社の見守り支援システム「眠り CONNECT」により把握できる睡眠状態、及びその他のライフログデータと、MUSVI 社のテレプレゼンスシステムを活用することで、医療・介護の連携による新たなケアモデルの構築を目指します。



左：上五島病院と接続、右：奈良尾医療センターと接続の様子。

#### ■背景

日本は 2040 年に高齢化のピークを迎えると予測されており、医療・介護の需要が急増しています。現時点でも高齢化が進んだ離島や過疎地域では、医療従事者や介護職員の不足が深刻で、地域医療の維持や介護現場の負担軽減が大きな課題です。

中でも、介護施設職員による「通院介助」は、移動や待機を含めて 1 回あたり 3 時間を要することもあり、職員・利用者双方にとって大きな負担となっています。こうした現場の課題に対する将来を予測したテクノロジーを活用した解決策が求められています。

#### ■実証概要

本実証研究事業では、当社の「眠り CONNECT」と、芙蓉開発社の AI/ICT 健康管理システム「安診ネット介護 DX」、そして MUSVI 社のテレプレゼンスシステムを組み合わせた「眠り CONNECT コミュニケーションパッケージ」を用い、診療情報の可視化と対面同等のリアルなオンライン問診・診療の実現をサポートしています。通院に伴う負荷の最小化と医療・介護の新しい連携モデルの構築を目的としています。

▽実証フィールド

実施地域：長崎県新上五島町（高齢化率 44.6%）

医療機関：上五島病院／奈良尾医療センター

介護施設：特別養護老人ホーム 福見の園（定員 30 名＋ショートステイ 10 名）

▽各社の役割

パラマウントベッド：「眠り CONNECT コミュニケーションパッケージ」の提供

MUSVI 株式会社：プロジェクトマネジメント、テレプレゼンスシステムの技術提供

芙蓉開発株式会社：健康管理システム「安診ネット介護 DX」の提供

みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社：実証データの収集・解析および費用対効果の評価

■今後の展望

実証フェーズで得られるデータを基に、費用対効果や導入指針を明確化し、他地域への展開可能性を高めていきます。当社は今後もブランドメッセージ「WELL BEING for all beings」のもと、高齢化が進む地域社会全体における持続可能な医療・介護の提供に貢献してまいります。

**報道関係者 お問い合わせ先**

パラマウントベッド株式会社 広報部

Mail：pb-pr@paramount.co.jp Tel：03-3648-1111 FAX：03-3648-5781

※ 掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、本ニュースリリースは当社の取り組みを報道関係者や株主・投資家をはじめとするステークホルダーの方々へお伝えすることを目的としたものであり、一般の方への医療情報の提供や顧客誘引を目的としたものではありません。